

生涯学習館

28日(金)は館内整理日のため
休館です。

開館時間 平 日10:00～19:00
土・日 9:00～17:00

P ←このマークがついているイベントはとしょかんパスポート対象事業です。パスポートを持って参加してね!

文学散歩

～本を読んでからでかけよう～

昨年も大好評だった文学散歩。今年のコースは昭和の近代文学が凝縮された町・世田谷です。作家で「北沢川文化遺産保存の会」のきむらけん氏の案内で近代の作家や歌人が普段着で散策した場所を訪ねてみましょう。

日 時 3月5日(土)午前8時30分出発
(雨天決行。10分前までにお集まりください)

集合場所 富士河口湖役場前

参加費 2000円

コース 役場駐車場→世田谷・邪宗門→昼食→
作家の思い出を聞きながら懇談→役場

参加方法 「葦草の家」または生涯学習館に展示して
いる関連書籍を読んでからお申込ください。

定 員 20名(なり次第締め切り)

お問合せ 生涯学習館【Tel0555-73-1212】

としょかんパスポート 提出せまる!!

みなさんが一生懸命集めてきたマイルをいよいよ集計します。合計のマイルが多かったお友だち10名を表彰します。表彰目指してラストスパート!たくさんの提出をお待ちしております。

パスポート提出期限

2月26日(土)～3月6日(日)

期日を過ぎると受け付けません。
生涯学習館カウンターまでお持ちください。

生涯学習館 おたのしみイベント

出し物やクイズ大会などただいま楽しい内容を計画中…
としょかんパスポートの表彰もこのイベントで行います。
ぜひみんなで遊びに来てネ!

3月26日(土)午前10時～

中央公民館

富士山講座特別展示

富士山の雪形を楽しむ

2月1日(火)～2月24日(木) 学習室1

富士山講座
2月20日(土) 午後2時～

こちらは定員のため
申込みを締め切りました

1冊の本から見える、いろんなキモチ。

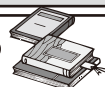
第50回読書会



日時:1月22日(土) 午後2時～
場所:生涯学習館学習室1
課題:「父の帽子」森茉莉/著

今回の課題は文学散歩の関連作品です。
文学散歩に参加される方は
一緒にどうですか?

♪新着書案内♪



◎KAGEROU/齋藤智裕 ◎烙印/天野節子 ◎モルフェウスの領域/海堂尊 ◎やぶへび/大沢在昌 ◎飛水/高樹のぶ子 ◎エルニーニョ/中島京子 ◎悩む人ほど、大きく伸びる/渡部昇一 ◎おうちで「おきよめ」生活/内川あ也 ◎歴史を歩く。/井沢元彦 ◎雪崩リスク軽減の手引き/出川あずさ ◎いま日本経済で起きている本当のこと/増田悦佐 ◎あなたの癌は、がんもどき/近藤誠 ◎血糖値をしっかりと下げるコツがわかる本/鈴木吉彦 ◎ワインビジネス/リズ・サッチ ◎子どもが病気になったときに読む本/梶谷まき子 ◎はばたけ、佑樹/斎藤しづ子 ◎パテントロール/石橋秀喜 ◎「閉経後乳がん」を生きる/佐藤万作子 ◎フェルトDOG/山崎佐織 ◎幸せわんこの健康ごはん/佳子ヴォス ほか

◎読み聞かせ会◎

●0・1・2・3歳対象(午前10時30分～)

P ブラウンベア(えいご) 1月11日(火)

P うさぎのおやこ 1月25日(火)

●幼児～小学生低学年対象(午後1時30分～)

P パパのえほんタイム 1月8日(土)

P イトワールの会 1月22日(土)

1月の分館の予定

	開館日	開館時間	読み聞かせ会 午後4時30分～
大石・河口	火・木曜日	午後3時～6時	P 18日
上九一色	月～金曜日	午後1時～5時	P 19日



問い合わせ/生涯学習館

TEL ☎ 0555-73-1212 FAX ☎ 0555-73-1358

URL 🌐 <http://www.fujikawaguchiko.ed.jp>

E-mail ✉ library@fujikawaguchiko.ed.jp

町の文化財紹介

いにしえ こ みち

富士河口湖古の小径

祝言（しゅうげん）

現在の結婚式、結婚披露宴は、随分華やかで豊かになったと思います。

戦中戦後の結婚式のことを考えると、経済状態の悪い中、精一杯の支度をして嫁いでいった女性のことかと思えます。特に戦中は節約令が布かれ、嫁ぐ女性は、着物を仕立て直したモンペに標準服（作務衣のようなもの）という花嫁衣裳でした。戦後、少しずつ経済状態が上向いてくると、花嫁衣裳はモンペ、標準服から着物の江戸褌へと移り変わってきました。

昭和二十年代から三十年代初めにかけて、地方では「結婚式」のことを「祝言」と呼んでいました。また、式も花婿の自宅で行われていました。当時は農閑期にあたる晩秋から冬の大安吉日を選ぶのが通常で、それも、夕方から夜にかけて行うのが一般的でした。

祝言当日。この日の午後、羽織、袴を身にまとった花婿は、奇数の人数（花婿を含め十一、十三、十五などの人数で、その家柄によって人数を決める）で、花嫁を迎えに行きます。花嫁の家では花婿を酒肴でもてなし、最後に引き出物を出します。

これが終わると、迎えに来た人数より多い奇数の人数の人を出し、一緒に花婿の家に向います。花婿の家の近くまで来ると、「おかたー、おかたー」（「おかた」は花嫁の意）と言って花嫁が来たことを親戚の手伝いの者、近所の人などに知らせます。知らせを聞いた人達は、火のついた焚き木をかざして迎え入れます。

一行は家の中に入り、花婿、花嫁は座敷に飾った花嫁道具の前に座ります。花嫁の隣に添嫁（そよめ）、仲人、親戚、兄弟と順番に座り、末席には雲助（くもすけ）が三、四人並びます。

添嫁は形式的なもので、花嫁の不測の事態に對し代役を務める人のことですが、一般的に小学生の女兒が選ばれます。また、雲助は小学生の男児が務め、花嫁道具を運ぶ手伝いという名目で列席します。雲助はこの役で、後にご祝儀がもらえます。

一連の「祝言」の儀式は、式次第により三三九度の盃の儀から始まります。地域によっては最後の盃の時、盃を持った手を下から振り払う処もあり、これを知らない花嫁に盃の酒が掛かっってしまうこともあり。列席者には銘々膳のご馳走が振舞われ、これをいただきながら唄や踊りを見聞きし、賑やかな宴となりました。

花嫁の髷（まげ）を切る儀式もおもしろ可笑しく行われます。髪剃を研ぐ仕草や、どこを切ろうかと迷う仕草を大袈裟にして、皆を笑わせました。

また、雲助がご祝儀をもらう場面では、紙に包んだお金をお盆の上に乗せ、おもむろに雲助の前に差し出します。これを雲助が上から手で擦り、これでは少ないから駄目だと突き返します。差し出し人はそれを持ち帰り、中の金額を増額して再び雲助の前に差し出します。雲助が納得いくまで、これを三、四回繰り返しました。

最後は、花嫁が列席者一同に一杯の「いけつ茶」を振舞います。これをいただくとお開きとなり、皆が家に帰っていきます。

列席者が帰った後、花嫁は真っ白な割烹着を着、「祝言」のお手伝いをしてくれた人達のおもてなしを行います。

翌日、花嫁は高島田から丸髷に結び直し、手拭い一本（またはその程度の品物）を持ち、隣組、向こう三軒へ、仲人と一緒に仲間入りの挨拶に回ります。

これで、一連の「祝言」の行事が終わります。当時、「祝言」の行事は当事者、列席者ばかり

でなく、それを聞いた関係のない老若男女までもが、まるでお芝居でも観に行くかのように見物にきました。このため、「祝言」を挙げる家では、来てくれた多くの人々に見てもらおうと障子や襖を開け広げました。

障子を開け広げるのにはもう一つ理由がありました。それは、農閑期に式を挙げるため、季節は寒く、障子を閉めようものなら、見物客は指に唾を付けて障子に穴を開けるのでした。

見物客は「祝言」ばかりでなく、座敷に飾られている箆笥や布団などの嫁入り道具をしばし眺め、品定めをしながら見入りました。同じ日に複数の「祝言」があると、各自夕飯を食べた後、「祝言」が行われるあちこちの家に出向き、式や花嫁道具、お色直しなどを見比べては批評をしたものでした。

人々の生活様式が変わり、経済状態もよくなると、自宅での「祝言」はなくなり、専門の式場で結婚式、結婚披露宴を挙げるのが慣例となりました。これに伴い、「祝言」という言葉もいつしか使われなくなりました。

（特別寄稿・ふるさとガイドの会 小林 那津子）

1月26日は

「文化財防火デー」です

文化財防火デーの制定は、昭和二十四年一月二十六日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県斑鳩町）の金堂が炎上し、壁画が焼損したことを契機としています。

かけがえのない貴重な文化財を火災から守りましょう。



〈地域社会活動と地域ボランティア活動〉 ～広げようネットワークの輪～

富士河口湖町女性交流センター

みずうみ通信



明けましておめでとぅございます。

平成三年四月に開館された「河口湖美術館」は、本年二十周年を迎えます。

少数精鋭の職員で運営される新美術館の、人手不足を補い、大切な展示室の監視役を努める「協力員会」も開館と同時に発足し、二百名余の町内在住の女性が率先して参画しました。あくまでボランティアとは言え、品格ある美術館のお手伝いですから、服装、言動は勿論、すべてに気を配り、さらに展示品、名画について常に学びつつ、緊張して役割をはたしてまいりました。

あれから二十年、振りかえりますと感無量です。協力員活動を通して多くのことを学んできました。このたびは、協力員としてご活躍のお二人の方に手記を寄せていただきました。

みずうみ通信編集者

協力員の活動に思う

協力員会会長 蒔田 弥生

五感で学び楽しむ文化と観光の町の施設として創立された河口湖美術館も、今年は二十周年を迎えます。

館の設立と共に町民が身近に数々の美術・芸術の秀作に出会えることに感動し、ボランティア組織「協力員会」も発足しました。以来、館運営の一助にと大勢の町民参加により支えられることとなりました。

その後、協力員会の活動が県内市町村の方にも知れ渡り町外の方々の協力員も年々増えてま



いりました。これも、河口湖美術館が広く知られ訪れる方々も広範になった結果と悦ばしいことと考えられます。現在協力員の現状は、総数二四九名中(町内百十名、町外一三九名)年齢は三〇～八〇代となつています。ご夫妻、男性の協力員も増えてきました。また、遠くは大月・上野原・山梨市からもおい出いただいています。

美術館内の看視だけでなく地域に戻られての当館のPRもいただけるよう協力もお願いしています。

協力員会の活動としては、五月に県内外美術館研修(日帰り)。十二月には、「昼(夕べ)の集い」、三月には総会・講演などの行事があり、会員相互の親睦・交流の場ともなっています。

今後も美術館が未永く町民の拠り所として存続することを願い惜しめない協力をしていこうと思つています。

町民の皆様にも、奮つて協力員としてご参加いただきまして、河口湖美術館をより一層支えてくださることを願つております。

美術館と私

竹谷 きみ子
(協力員歴二十年)

この町に美術館が出来る！と心が弾んだ私たち、そして現実し、今年で二〇周年を迎えます。鎌倉から足立館長をお迎えして、富士山展に始まり、世界的名画、写真、押花展等々……沢山の作品を観せていただきました。この間における館長、学芸員の方々の御苦労は大変だった事です。しょう。

初期の頃、土門拳の写真展に感動し、第一期二年間の役員を終えての私達は、足立館長と共に、桜の花咲く奈良、吉野、室生寺に仏像を觀に行きました。その夜二時間にわたり、ペンを片手に仏教の講議を受けた事等は忘れられない貴重な研修でした。

甲府の篤志家から古いレコードを沢山いただき、協力員役員で何ヶ月もかかって磨き整理した事もありました。このように私たちにとても大切な町の美術館なのです。毎年行われていた「両洋の眼」も昨年で終わり、新しい企画を思考されている事でしょう。

今回行われた「北麓アートファイル2010」は郷土の作品を紹介する素晴らしい企画だったと思います。監視の当番をしていますと作品を見ているお客様の驚きと感動がとても嬉しく伝わってきました。

高価な名画も尊く心豊かになり大切な事です。でも、河口湖美術館は町立の小さな美術館。この地域にも公に認められた良い作品が沢山あると思います。その様な作品も合わせて展示される事を期待しながら、郷土の美術館として未長く存続させていただきたいと願っている私です。

富士と湖の 自然をみつめて

Nature in and around Mount Fuji



アースウォッチの集い 富士山生物多様性研究イニシアティブの報告

2010年は生物多様性年ということで、世界各地で様々な取り組みが行われました。河口湖フィールドセンター自然共生研究室も、アースウォッチ・ジャパンと協働で「富士山生物多様性研究イニシアティブ」プロジェクトとして「絶滅危惧チョウ類」・「林と草原の鳥」・「湧水の植物とカヤネズミ」の3本のプロジェクトを計画し、延べ70名のアースウォッチ・ボランティアの参加によって、5～8月に計12回実施することができました。

そのまとめを12月18日(土) 東京大学山上海館で開かれた「アースウォッチの集い」で「富士山の里山環境の保全」と題して講演しましたが、約60名の方が参加して下さいました(写真)。

最初に、チョウ類と湧水の植物・カヤネズミの調査結果を、2010年に学会で発表した過去の成果も含めて渡邊通人が報告しました。絶滅危惧種のミヤマシジミ・アサマシジミの生態で新しい発見もあり、管理団体との協力で絶滅から守ることが出来た事例も報告できました。湧水のバイカモ調査も初めての試みでしたが、カワニナやブユ類など多くの水生昆虫の大切な住み家になっていること、6～8月に急激に成長することなどがわかりました。草原性の希少種カヤネズミも、ススキなどを丸めた巣をつくるのは一時期だけで、冬季にもつくる可能性があることなどがわかって来ました。

また、絶滅危惧種で草原性のオオジシギと森林性のキビタキの鳥類調査については西 教生が報告しました。オオジシギは梨ヶ原のような広い草原だけで繁殖していますが、春の早い時期は疎林地帯で見られたこと、夏は刈り取ったススキが堆積した場所で観察され夏の大切な餌場と考えられたこと、キビタキは自然林と人工林で大きな差が見られず、春から夏の繁殖期には人工林も大切な生息地になっていることなどが判りました。

富士山麓では草原環境が急速に減少していますが、火入れが行われている梨ヶ原とともに、火入れが行われていなくても草刈りが行われている本栖高原や野尻草原も梨ヶ原に匹敵する位、生物多様性の高い場所であることが確認され、今後これらの草原をどのように手入れしたら良いのかというヒントも得ることが出来ました。

富士山の自然環境とその変化は、気付かないだけで麓に住む私たちの生活に大きな影響を与えており、観光をはじめとした多くの産業のためにも、「富士山の自然環境をどう守り育てるか」は今後を決める大きな課題といえます。そのためにも、来年度に向け富士山全体の自然環境保全の視野に立ち、昆虫・鳥・哺乳類・植物など様々な角度から調査を継続・発展させたいと考えています。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



富士山麓の自然 ケアシノスリが複数確認されました

ケアシノスリという鳥の名前を聞いたことのある人は、意外に少ないのではないのでしょうか? ノスリというのはトビ(トンビ)より少し小さい猛禽類の種です。トビほど多くないノスリも昨年2月の広報で、船津の里山で見られたことを報告しましたが、さらに大型でより見る機会の少ないのがケアシノスリです。名前の通り、脚に白い羽が生えているのが特徴で、飛んでいるときは尾羽と翼の後縁に黒帯があるので区別できます(写真)。「ユーラシア大陸北部で繁殖し、日本には冬鳥として北日本に渡来するが個体数は少ない」といわれています。

それが12月5・19日に梨ヶ原で複数確認されました。ノスリより全体に白く見え、旋回を繰り返しながら、ゆっくりとホバリングしてネズミなどを狙っている様子も観察出来ました。この冬には、西 教生がハイロチュウヒやコチョウゲンボウといった珍しい猛禽類も梨ヶ原で確認しています。広大な草原地帯は、絶滅危惧種の宝庫であるとともに、多くのネズミやウサギが住んでいて、それらを食べ物とする猛禽類にとっても貴重な場所であることが確かめられました。今後は猛禽類にも注目してネズミ類の調査を行って行きたいと考えています。



ショート・ニュース

○2010年は船津胎内神社が注目された年でした。12月9・10日にもFM東京・BSフジの取材があり、12月22日の朝FM放送で、年明けの1月7日にBSフジの番組で全国放送される予定です。


富士北稜高校生徒発表会
■日時 2月19日(土)

■会場 受付 午後1時～校内見学等
 発表 午後1時45分～3時15分
 富士北稜高校体育館
 (上履きをご持参下さい)

●問合せ先 富士北稜高校 TEL 2274161 坂本

国際交流協会主催 韓国料理教室

～身も心もあつたまる韓国料理を～

楽しくつくって食べましょう

■日時 2月12日(土)・3月12日(土)

(2回とも参加できる方)

午前10時30分～午後2時

■場所 中央公民館実習室・和室

■講師 松浦恵さん **■参加費** 実費

■定員 30名(定員になり次第締め切ります)

■持ち物 エプロン

■申込受付日 1月31日(月) から

●申込・問合せ先 TEL 721129

町役場企画課内

富士河口湖町国際交流協会事務局

県民コミュニケーション地域ベース講座
「健康づくりに役立つ知識」

多くの人は健康を求め、健康に関する情報はちまたにあふれています。健康をとりあげるテレビ番組なども感心を集めています。「○○を食べると△△を予防できる」「□□体操で健康づくり」「××を飲んで、○○の症状が消えた」…。ともすれば、間違った情報に振り回されてしまうこともあります。地域の皆さんが自分の力で健康づくりができるよう、健康を支えるサプリメント、身体的な健康、精神的な健康についての正しい知識をお伝えします。

■日時 2月2日(水) 午後1時30分受付開始

■場所 町中央公民館(講演・分科会1、2、3)
 富士吉田合同庁舎(分科会4)

■スケジュール
◇講演 午後2時～ 町中央公民館
 「健康長寿の秘訣」

折茂肇 学長

◇分科会1～3 午後2時30分～ 町中央公民館

 1 「健康とロコモティブ・シンドローム」
 寝たきりを防ごう

山本泰宏 理学療法学科教授

2 「精神的健康を考えよう!」心の健康づくりに取り組むには

小林一彦 福祉心理学科准教授

◇分科会4 午後3時～ 富士吉田合同庁舎

 3 「健康と運動」大久保雄 理学療法学科助手
 4 「サプリメントの正しい知識を健康支援に役立てよう!」

蒲原聖司

客員教授・DHC顧問

※折茂学長の講演後、富士河口湖中央公民館からバスによる送迎があります。富士河口湖中央公民館での解散は午後4時30分頃の予定。

■主催 健康科学大学

大学コンソーシアムやまなし

●申込・問合せ先 健康科学大学総務課

TEL 835200

NHK学園 平成23年度生徒募集中
◎広域通信・単位制高等学校4月生普通科
■概要 全国どこからでも入学可能。NHKのテレビ・ラジオの放送を利用した特色のある教育課程で、3年間で高校卒業資格を取得。登校は月に1～2回。

■履修年数 3年(転編入あり)

■募集対象 中学校を卒業した方、または23年3月に卒業見込みの方。高等学校中退者他。

※願書受け付け順に書類選考と面接を行います。

■受付期間 2月1日～4月20日(必着)

◎高等学校専攻科社会福祉コース
■概要 コミュニティ・ボランティア専攻

住みやすい地域社会をつくるために、多様な生活課題に対して幅広い知識を持ち、自ら主体的に適切な支援ができるコミュニティ・ボランティアの育成をめざします。

■履修年数 6か月～2年

■募集対象 高等学校卒業以上、または同等かそれ以上の学力のある方。23年3月に卒業見込みの方。ただし、「教養生」は必要なし。

※出願書類により入学手続きを行います。

■受付期間 2月1日～3月22日(必着)

※案内資料を無料で差し上げています。

●請求・問合せ先 TEL 04215723151

 ホームページ <http://www.n-gaku.jp>
放送大学 4月生募集のお知らせ

放送大学では平成23年度第1学期(4月入学)の学生を募集中です。

放送大学はテレビやラジオの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

○15歳以上の方なら、1科目から学習する選択履修生・科目履修生として入学できます。

○18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら、入学試験はなく、全科履修生として入学でき、4年以上在学して、124単位を修得し卒業すると、学士(教養)の学位を取得できます。



○一つの分野を体系的に学びたい方には「放送大学エクスパート」を実施しています。

■出願期間 2月28日まで。

※資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学山梨学習センターまでご請求下さい。放送大学ホームページでも受け付けております。

●請求・問合先 TEL 055-251-2238
ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

小学2年生から高校生のための 春休み海外派遣 参加者募集

国際青少年研修協会では体験を通してお互いの理解や交流を深め国際性を養うことを目的に海外派遣事業を行っています。

■日程 3月25日～4月4日の内10日間

■内容 ホームステイ、ボランティア、国際交流、学校体験、英語研修、野外活動など

■派遣先 アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、カンボジア、フィジー、ニュージーランド

■費用 29.5万～39.8万円(予定)

●問合先 文部科学省所管

(財)国際青少年研修協会
TEL 03-6459-4661

Email info@ksk.or.jp URL www.ksk.or.jp

ちびっこ探検学校ヨロン島 参加者募集

国際青少年研修協会では、沖縄に近い南の島、ヨロン島のサンゴ礁の海と美しい自然の中で全国から参加する仲間との共同生活や野外活動を通して、友達作りの楽しさを知り、お互いの理解や交流を深め、積極的にチャレンジする心を養い、外国人小学生と活動を共にし、国際感覚を身に付ける第一歩とする事業を行います。

■日程 3月27日～4月2日(6泊7日)

■内容 海水浴、イカダ作り、ハーレー船大

会、サトウキビ刈り、洞窟探検など。

■場所 鹿児島県大島郡与論島

■対象・参加費 小2～6年 200名

■締切 3月7日(月) 申込先着順

●問合先 文部科学省所管

(財)国際青少年研修協会

TEL 03-6459-4661

URL www.ksk.or.jp

富士吉田共同高等職業訓練校

■2級土木施工管理技士受験準備講座

■日時 7月中旬～18日間 午後6時～9時

■受講料 30000円(訓練校会員)

■対象者 32000円(会員以外)

■締切 2級土木受験資格該当者

■申込先 3月15日

富士吉田職業訓練協会(Tel 225214)

県立産業技術短期大学からのお知らせ

【在職者訓練】

■電子回路シミュレータSPICE入門講座

■日程 3月17・18日 午前9時～午後4時

■定員 10名 ■受講料 3300円

■国内旅行業務取扱管理者試験講座

■日程 3月16日～3日間 旅行業法

3月23日～3日間 国内旅行実務

■定員 午前9時～午後4時

■定員 10名 ■受講料 各4900円

■NC旋盤加工技術講座

■日程 3月22・23日 午前9時～午後4時

■定員 10名 ■受講料 3300円

■場所 産業技術短期大学校(甲州市塩山)

●問合先 県立産業技術短期大学校

TEL 0553・32・5202

「合同企業就職セミナー」の開催

■日時 2月10日(木) 午後1時30分～4時

■場所 ハイランドリゾートホテル&スパ

■内容 個別面談方式による企業紹介

■対象者 富士北麓の企業での就労に関心のある学生(平成24年春、大学・短大・専修学校を卒業予定の方。高校卒業予定者を除く)及び社会人

■参加費 無料(当日直接会場にお越し下さい)

●問合先 富士吉田市役所商工振興課

TEL 23・7053

参加予定企業(順不同)

シチズンセイミツ(株) 富士吉田キューピー(株)
 (株)牧野フライス製作所 クレイン農業協同組合
 (株)エスエスワイ 富士急行(株) 山梨信用金庫
 (株)富士急ハイランド (株)ユニ・テクノロジー
 (株)いちやまマート ホンダ自動車販売(株)
 富士山仙水(株) 都留信用組合
 ハイランドリゾート(株) マキノ電装(株)
 (株)加藤電器製作所 (株)富士情報
 甲斐ゼミナール (株)ディスペンパックジャパン
 (株)カナエフーズ (株)文理学院
 シチズン時計河口湖(株) 芙蓉建設(株)
 富士吉田市役所 富士吉田市立病院(助産師・
 看護師・言語聴覚士・視能訓練士) 防衛省自衛隊

県立都留高等技術専門校【在職者訓練】

■初心者のためのパソコン講座(第2回)

■日程 3月3日～4日間 午後6時～9時

■定員 20名 ■受講料 2100円

※既定の用紙に記入し、申し込みください

●問合先 県立都留高等技術専門校

TEL 0554・438911
 FAX 0554・438912



カナダガン捕獲大作戦

河口湖や山中湖にいるカナダガンは、もともとアメリカやカナダにすんでいる鳥です。環境省は、「要注意外来生物」に指定して、注意を呼びかけています。数が増え続け困ったことになる前に、詳しい生態を調査し対策を考えます。今回は、山梨県の許可を受けカナダガンを捕まえ、足に「リング」をつけて放し、専門の人が観察します。なお、捕獲するために特別にエサをあげますが、野外の動物にエサをあげるとは周辺環境に悪い影響を与えますのでまねをしないで下さい。

●問合先 地域自然財産研究所

TEL 0554454001

日本野鳥の会神奈川支部

TEL 0454533301

神奈川県立生命の星地球博物館

TEL 0465211515

【出張講座】NEXCO中日本

「高速道路交通安全」セミナー

NEXCO中日本では、企業様、各団体様が開催する講演会等に、ご要望に応じて社員を派遣し、高速道路路上での交通事故の発生状況や交通安全ポイント等の情報を提供致します。

●講師料 無料 ■日時 随時

●講演時間 約1時間

●対象人数 10名様以上から40名様程度

●問合・申込先 NEXCO中日本

大月保全サービスセンター

TEL 0554222151

家庭を守る防災対策 part 47

【火災警報器設置について】

住宅用火災警報器は皆さんの大切な「命」や「財産」を守るためのもので、設置の義務付けが平成23年6月1日となっています。

皆さんのお宅ではもう設置しましたか。

次の質問に「はい」か「いいえ」でお答えいただき、1つでも「いいえ」があった場合は速やかに住宅用火災警報器を購入・設置しましょう。



■住宅用火災警報器を設置しましたか？

はい

いいえ

↓
住宅火災で亡くなっている方の約6割が「逃げ遅れ」によるものです。

■すべての「寝室」に設置してありますか？

はい

いいえ

↓
住宅用火災警報器は、住居内のすべての寝室に付けなければなりません。

■寝室が2階以上にある場合、階段にも設置してありますか？

はい

いいえ

↓
寝室が2階以上にある場合、階段にも設置が必要です。

悪質な訪問販売にはご注意ください！

消防署や市町村が、直接住宅用火災警報器を販売することはありません。消防署の名をかたるなど、悪質な訪問販売にご注意下さい。

管理課 防災係 TEL 72-6013

災害時協定を5社と締結へ

富士山火山防災協議会

「富士山火山防災協議会」（平成13年7月設置／富士河口湖町、富士吉田市、忍野村、山中湖村、西桂町、鳴沢村、身延町の7市町村で構成）は、富士北麓に店舗があるホームセンターやドラッグストア5社（カインズホーム、ケーヨーデイツー、Jマート、コメリ、クスリのサンロード）と、災害時の生活必需品調達を盛り込んだ協定を締結しました。

協定書には、7市町村で大規模災害が発生した場合や、発生のおそれがある場合に食料や衣料、日用品、医薬品などを有料提供することが盛り込まれています。

このように行政による「公助」は言うまでもありませんが、自分の身を守る「自助」がとても重要です。最低3日間自力で生活できるように、ご家庭において食料や日用品などの非常備蓄品を日頃から準備しておくことが大切です。



管理課 防災係 TEL 72-6013

河口湖ハーブ館

1月講習会のお知らせ



シルバークレイ作家・額谷さんとの第二弾です。
今回は、指輪とそれを飾るジュエリーツリーを
作ります。シルバーとフリーズドのバラが幻想的！

1月22日（土）PM2時～
材料費 3,800円 定員 10名



オレンジにクローウをさして作るポマンダーです。
さしている時の香りはとてもさわやか！
仕上げにシナモンパウダーを振って完成です。
いにしえの芳香剤を作ってみませんか？

1月29日（土）PM2時～
材料費 1,000円 定員 30名

お問い合わせ 河口湖ハーブ館 0555-72-3082

1/24～2/ 4 富士河口湖町役場（エントラスホール）にて、ハーブ同好会の作品展を開催します。是非お越し下さい。



体験教室のお知らせ

2011年の干支「うさぎ」にちなんで、
大石産の繭を使用して、うさぎの
昔話人形を作しましょう。

【うさぎとかめ】

【カチカチ山】

【お月さまに行ったうさぎ】

3つの話のうちから作りたいものを選んで
申し込みの際に予約して下さい。

日 時・・・1月22日（土）午後1時～

参加費・・・1話につき1,000円

問い合わせ先 0555-76-7901

大石
紬
伝
統
工
芸
館